

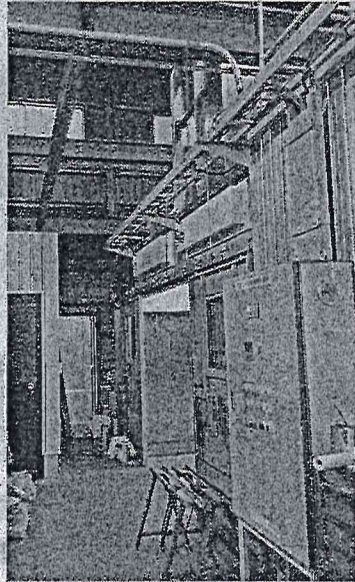
# 光栄プロテック

# 「硫化いぶし」専用工場

## ホテル・寺社・店舗 高級感を演出

光栄プロテック（大阪府枚方市、三田雅憲社長、072・859・1365）は、本社工場近隣に建築用金属部材などに特殊表面処理を施す専用工場を稼働した。銅合金の表面に経年変化したような茶褐色を出す「硫化いぶし仕上げ」などの需要が、ホテルや店舗向けに増えているのに対応する。全社の生産能力は最大2割増える見通し。2020年3月期売上高で前期比1割増の2億8000万円を目指す。

## 生産能力2割増



専用工場は同社で4カ所目の工場。硫化いぶし仕上げなどの専用となることから、名称を「R1工場」とした。総投資額は土地代を含めて約6500万円。平屋建てで、延べ床面積は約1000平方メートル。床面積は約1000平方メートル。塗装ブースと乾燥炉を各1基導入した。光栄プロテックは硫化いぶし、黒染め、緑青といった特殊な金属表面処理や塗装が主力。ここ数年は外資系ホテルや寺社、博物館、店舗などに高級感を演出する特殊処理の

仕事が増えている。ただ硫化いぶしなどの特殊処理は色調の調整工程で粉じんが発生するため工場内の他の工程を止めなければならず、生産性向上の課題となっていた。特殊処理を専用工場に移すことで、従来、同処理を担ってきた本社工場の生産効率も向上する。